

第 13 回議会報告会 報告書

地 域 名	伊佐地域		
年 月 日	平成 27 年 10 月 26 日 (月)	会 場 名	伊佐ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参 加 数	男性 4 人	女性 1 人	合計 5 人
班 長	藤原哲郎	司 会 者	藤原哲郎
報 告 者	吉井 稔	書 記	勝地恒久
班 員 名	藤原哲郎、西谷昭徳、吉井 稔、勝地恒久		
	市 民		対 応
報告に対する質疑	なし		なし
意見交換会での質疑	<p>①南谷診療所閉鎖の原因は、何なのか。</p> <p>②八鹿病院の累積赤字が多額であるが、今後の経営は大丈夫なのか。</p> <p>③養父市の人口減少対策は。</p> <p>④朝日新聞掲載の養父市広告について、どのように考えているのか。</p> <p>⑤自主財源確保のふるさと納税状況は、どうなっているのか。</p>	<p>①医師は「冬の駐車場除雪、また施設内の取手等改善」の期限付き改善要望書を提出。役所の誠意がないので診療所展開ができない。市に聞くと「施設全体を貸しているので、医師側で直すこと。また、駐車場除雪はする。」と回答しているとのことであったが、結果的には医師は和田地区に行かれた。</p> <p>②監査報告書では自己資金、固定資産の流動負債からの調達度、現金と負債の比率は、全国公立病院平均と比較しても八鹿病院は、資金面ではまだ余裕があるとのこと。今後は、医師数の増とベッドを埋めていく努力が必要である。</p> <p>③現在進行中の農業特区事業、今後 5 年計画の地方創生事業等に対応していく。</p> <p>④ホームページのアクセス数は増えたが、1,400 万円かけた広告の内容について、議会はあまり納得していない。</p> <p>⑤平成 26 年度実績は、91 件 737 万円。今年 4 月から 9 月末現在は、384 件 1,194 万円でかなり増加している。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>⑥若者が帰ってこない原因を尋ねると「友達がいらない、楽しむ場所がない、アパートがない等」と言う。帰るよい方策はないのか。</p> <p>⑦「雇用促進住宅つるみ宿舎」について、今後市としてどのように考えているのか。</p>	<p>⑥養父の上箇、広谷、十二所付近は交通アクセスがよく、近くでショッピングが可能、学校も近い。また、住宅関係で民間企業の寄与もあり若者が多くいる。市内の多くの場所にこのような環境をつくりだす必要がある。</p> <p>口米地の市営住宅に若者向けのモデルを今年6月に造り、若者の入居を待っている。今後需要が多くなれば増やすようになっていく。</p> <p>⑦確かなことがわからないので、持ち帰って調査し、回答は自治協議会の会長にさせていただきます。</p>
その他（提言など）	なし	なし
<p>備考</p> <p>議会報告会への参加市民が減少傾向にある。開催手法の見直し時期に来ていると感じる。</p>		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 27 年 11 月 2 日

報告者 4 班 班長 藤原 哲郎

